



平成 21 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 奥 田 陽 一  
 (コード番号 4739 東証第1部)  
 問 合 せ 先 執行役員経営企画室長 城田 勝行  
 (TEL 03-6203-5000)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 10 月 28 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	325,000	23,000	23,500	13,500	207.93
今回修正予想(B)	310,000	20,000	20,500	11,500	177.09
増減額(B-A)	▲ 15,000	▲ 3,000	▲ 3,000	▲ 2,000	———
増減率(%)	▲ 4.6%	▲ 13.0%	▲ 12.8%	▲ 14.8%	———
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	319,289	25,013	26,054	15,419	232.70

### 修正の理由

米国金融危機に端を発した世界的な景気後退の影響を受けて、下期以降、企業収益は急速に悪化傾向を辿っています。情報サービス産業におきましても、ハードウェアをはじめとする IT 投資抑制傾向がより顕著となり、新規案件の減少や案件規模の縮小、投資計画の先送り等、当社を取り巻くビジネス環境は一段と厳しさを増しております。

このような環境下、当社グループは安定した収益基盤を確立すべく開発、サービスビジネスの拡大に向けて注力し、当第 3 四半期は増収・増益となったものの、製造業や金融業等における需要の減少は予想以上に大きく、通期の業績予想を上記のとおり修正いたします。

当社といたしましては、引き続き、ビジネスモデルの転換を推し進めるとともに、不採算案件の減少やコスト構造の改革に向けてより一層注力することにより、収益体質の強化を図ってまいります。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上